

OpenAIの逆襲：新AIモデル「Shallotpeat」と「Garlic」の全貌

GoogleのGemini 3が性能ベンチマークでGPT-5を上回ったことを受け、OpenAIは「Code Red」と呼ばれる緊急対応を宣言。
市場での競争力を取り戻すため、基礎研究と製品開発の両面からなる2つの新モデル開発プロジェクトを始動しました。

Shallotpeat：基礎研究プロジェクト



根本的な技術課題を
解決する「土壌改善」

従来のAIモデル訓練方法（事前学習）
の根本的な欠陥を修正することに特化。

コードネームは「貧困
な土壌」の改善を象徴

シャロットがピート土で育ちにくいことに例え、基礎技術の改善の
必要性を示唆。

直接的な製品リリースはなし
将来のモデルの基盤となるための、
長期的な基礎研究プロジェクト。



Garlic：製品志向モデル

Shallotpeatの研究成果
を活用する「製品」

Gemini 3やOpus 4.5を凌駕する性能を
目指す、市場投入を前提としたモデル。



小さなモデルに大規模
モデルの知識を注入

低コスト・短時間での訓練と高い
運用効率を実現。

2026

2026年初頭にリリース目標

GPT-5.2またはGPT-5.5として
発表される可能性がある。

